

Copyright © レトロレトラ



あまみの風  
不定期

発行元 天見地域まちづくり協議会 会長 原五郎  
編集協力 河内長野市役所(市民協働課) 電話0721-53-1111

# みんなと一緒に お買い物 行きますせんか

## ワイワイガヤガヤ おしゃべりしながら

今も昔も、天見地域には、生鮮食料品や日用品などを買う大きなスーパーがない。ゆつたりと買い物を楽しむには、少し不便を感じてしまう。

そこで、平成27年2月に設立され、住民が力を合せて、様々な地域課題の解決に取り組んでいる「天見地域まちづくり協議会」が立ちあがった。

住民の皆さんの生活利便性を支えつつ、顔を合わせる機会になればと、南海バスを貸し切り、イズミヤを往復する「買い物バスツアー」を開催する。

平成28年 **3月16日(水)** 開催!

- 内容
- 午後1時00分 天見・出合いの辻の交差点から出発
  - 午後1時15分 岩瀬・天見公民館の前から出発
  - 午後1時30分 清水・惣代から出発
  - 午後1時45分 イズミヤ河内長野店 →お買い物
  - 午後4時00分 千早口・天見まで到着・解散

定員 60名 ※各地区(上天見・下天見・流谷・上岩瀬・下岩瀬・清水)でとりまとめ

主催 天見地域まちづくり協議会・天見地区連合自治会・天見地区福祉委員会

協力 河内長野市(市民協働課)が当日の緊急連絡などの運営を支援します。



ここだけ切り取って各自治会の役員へ ※締切3月11日(金)まで

3月16日(水) 買い物バスツアー申込書

名前	
電話番号	
介助などの有無	車いす ・ その他( )

# 神事 勧請縄かけ

1月9日の早朝。八幡神社で、「勧請縄かけ」とよばれる神事が行われた。

この日、たき火が焚かれ、氏子をはじめ多くの人が集まる中、境内には祭壇が設けられ、藁（わら）などの材料が揃えられた。

太鼓を合図に、神事が始まった。宮司さんによる安全祈願、お神酒で乾杯の後、女性たちは、運び込まれた藁を縄（なわ）になっていく。「久しぶりにやるから忘れてしもたわー」などと話しつつ、和やかに藁縄づくりが進む。

一方、男性たちは、昨年の縄を参考に、勧請縄の作業に格闘。3人がかりで、力いっぱい締め込んでいく。縄の先がまるで「龍」のよう。

でき上がった勧請縄を前に、関係者が拜殿に参集、お祓いの後、橋のたもとの太い柿の木に勧請縄を固定し、川の反対側で、もつ片方を勧請杉に何重にも巻いていく。

朱色の橋の上は、作業する人や見学者で大にぎわい。最後は、宮司さんが大幣でお祓いをし、今年も無事に終了した。



今年の縄かけの様子



## 流谷に名所誕生

今、流谷に、花の名所と呼ばれるところがある。その名は、「蠟梅（ろうばい）の里」。鮮やかな黄色い花が見頃を迎え、段々に続く棚田を彩っている。

蠟梅の花の見頃は、例年12月末～1月末ごろだが、今年は、暖冬のため開花が早かったと聞く。場所は、八幡神社から上流へ10分ほど歩いた左側。「蠟梅の里」という名前は、観光ボランティア倶楽部が命名したとのこと。今年1月、同倶楽部と住民による手づくりの看板が設置された。

来年は、流谷に、もっと多くのハイキング客が押し寄せるかもしれない。



蠟梅の花（1月中旬撮影）

## フォトウォーク 参加者募集

若手の手づくり作家が集まり、作品を販売しあう「ボンボンマルシェ」。

3月、南天苑で、このイベントの開催に併せて、天見地域を巡るフォトウォークが企画されているとのこと。

天見の里山や寺社などを歩いて巡りながら、指定のフォトスポットで写真を撮影し、ポイントを集め、時間内に獲得した合計点の高いチームが優勝。渡されるマップを頼りに、どんなコースを歩くかはチームで作戦会議。小さいお子様には、有利なキッズポイントも。ピクニック気分に参加できる。

参加の申し込みは、ウエブから。  
ボンボンマルシェで検索

平成28年3月5日（土）9時～

南天苑スタート10時～正午  
参加費 おとな500円  
（子ども300円（未就園児無料）  
先着30チーム（1チーム5名まで）



### ■本紙編集ボランティア募集

人の話を聞くのが得意な人、記事を書ける人、カメラで撮影できる人など。経験不問で募集中。詳しくはメール

で [terumicic0822@gmail.com](mailto:terumicic0822@gmail.com) へ。